

移動等円滑化評価会議東北分科会 意見交換会(山形県・福島県)の開催 について

意見交換会(山形県・福島県)の概要及びご意見等について

1. 意見交換会の概要

- ・移動等円滑化評価会議東北分科会にてご意見として開催要望のあった、「各県ごとの意見交換会」について、山形県、福島県の2県合同で令和8年7月2日に開催した。
- ・山形県、福島県内の障害者団体等の委員の他、バリアフリープロモーターにもご参加いただき、移動等円滑化に関する取組やご意見についてご報告いただいた。

2. バリアフリープロモーターの取組

日本大学工学部建築学科 山田 義文 准教授

テーマ： 車椅子利用者に配慮した自動ドア開扉動作の最適化に関する研究

研究背景： 電動車椅子利用者が通常の自動ドアに接近した際、衝突しそうになる危険事例が報告されている。

ミライドア（車椅子利用者に配慮した自動ドア）の特徴：

利用者の携帯端末とBluetoothで通信し、自動ドアとの回避距離をアプリで設定可能。

ミライドアは、空間特性に応じ自動ドア開扉を柔軟に制御し、環境最適化への有用性を有する。

今後の展望：

オートロック・セキュリティゲートへの応用可能性がある。

他の利用者（高齢者等）を対象とした追加検証を予定

3. ご意見等

【心のバリアフリーの推進について】 認知症の人と家族の会福島県支部 芦野 正憲 委員

- ・ハード面の整備は年々改善されているが、心のバリアフリーの浸透が課題
- ・タクシー運転手等、従業員への障害・認知症理解促進のためのアンケートや企業への啓発を要望
- ・福島市社会福祉協議会による「心のバリアフリー出前講座」を実施中だが、このような取組の全国的な実績調査を要望
- ・自動ドアの操作方法が多様（手をかざす・触れる等）で認知症・高齢者には理解困難でありこの点もバリアフリーのテーマとして取り上げるよう要望

【ユニバーサルデザインタクシーの普及について】 山形バリアフリー観光ツアーセンター 加藤 健一 委員

- ・山形県内（特に南陽市周辺）でのユニバーサルデザインタクシー普及が不十分。タクシー協会への周知、導入促進を国・県に要望
- ・ユニバーサルデザインタクシーの山形県内の市町村別導入状況について質問

【福祉タクシーとユニバーサルデザインタクシーの方針について】

福島市観光コンベンション協会 福島市バリアフリーツアーセンター 佐藤 由香利 委員

- ・国として福祉タクシーよりもユニバーサルデザインタクシーを優先的に普及させたい方針かを確認

【駅のバリアフリー化について】 福島県視覚がい害者福祉協会 阿曾 幸夫 委員

- ・みどりの窓口の廃止・無人駅の増加により、視覚障がい者の利用が困難になっている。
- ・地方へのホームドア整備の推進を要望

山形県 地域交通政策課

- ・赤湯駅エレベーター大型化工事に着手予定（県・南陽市が協調補助）
- ・心のバリアフリー・ユニバーサルデザインタクシー普及について課内で共有・検討する。

福島県 生活交通課

- ・補助金等を活用した駅バリアフリー化を推進中。本日の内容を共有し、普及に努める。